

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	生活排水対策に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	1	3	
政策	21人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	環境課			
施策	211環境保全の促進	担当課室長	市村 昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	水質浄化の啓発活動に係るイベントを開催し、さらなる水質改善を図る。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	水質改善を図るため、水質調査や水質浄化の啓発活動を行う。
②①に基づく取り組み結果	生活排水浄化対策の取り組み、啓発活動を実施した結果、手賀沼、印旛沼の水質は、ほぼ横ばいで推移している。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内主要河川(6河川):大津川、金山落、井草水路、中沢川、二和川、大柏川	意図(対象をどうするのか)	河川水質の監視
②事務事業の概要	水質を保全するため、水質調査や浄化対策を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	本市は手賀沼、印旛沼、真間川流域の最上流部にあたり、水質汚濁の防止に取り組む必要がある。大津川、井草水路においては、若干水質の改善がみられるが、さらなる水質改善を目指し、鎌ヶ谷市生活排水推進計画に基づき、施設整備及び水質汚濁の防止を啓発するとともに、公共用水域の水質監視体制に取り組んでいく。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	市内公共用水域水質検査結果(別添)					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i 大津川BOD値	7.0	7.5	5.3	mg/l	
	ii 井草水路BOD値	10.9	10.1	5.7	mg/l	
	iii 真間川水域BOD値	8.6	7.8	8.9	mg/l	
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	2,499	2,378	金額(千円)	内容	2,511	
国支出金(千円)			1,354	公共用水域・家庭雑排水共同処理施設水質調査手数料 家庭雑排水共同処理施設保守点検委託		
県支出金(千円)			579			
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	2,499	2,378				2,511

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	更なる水質改善を図っていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	手賀沼・印旛沼・真間川流域の最上流部に位置しているため、水質調査の継続実施・監視に取り組む必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	令和2年度への繰越額(単位:千円)				

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	大気汚染・騒音・振動防止対策に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	3	
政策	21人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	環境課			
施策	211環境保全の促進	担当課室長	市村 昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	大気汚染、騒音、振動被害を軽減するため、指導及び監視活動を行う。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	引き続き、下総航空基地の騒音実態調査や主要幹線道路の自動車騒音監視業務を実施する。
②①に基づく取組み結果	ホームページへの掲載及び窓口対応等で周知を行い、市民生活の安全・安心を図り、生活環境保全についての理解を得る。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	各世帯	意図(対象をどうするのか)	市民が静穏で快適な生活を送れるようにする。
②事務事業の概要	国が示す環境基準に達しているか、毎年下総航空基地や自動車騒音常時監視業務測定等を実施し、大気・騒音・振動等に係る評価・指導・改善要求を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	関係法令により事業が定められており、環境基準や規制基準が制定当時に比べると、各種公害を取り巻く環境や住民意識も変化している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	環境の概況(別添・抜粋・速報値)						
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠	
	i	相談件数	107	109	100	件	
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	2,090	2,551	金額(千円)	内容	2,910		
国支出金(千円)			1,474	航空機騒音実態調査業務委託			
県支出金(千円)			638	自動車騒音・面的評価業務委託			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	2,090	2,551			2,910		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	測定結果の活用方法について検討する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	法令等により市に義務付けられた業務であるため、下総航空基地や主要幹線道路による公害状況を今後も長期にわたって測定結果を注視していく必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由			流用・充当		
	令和2年度への繰越額(単位:千円)				

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	狂犬病予防等に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	1	
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	環境課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	市村 昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	狂犬病予防注射の接種率を上げるため、従前行っていた接種の督促回数を増加、強化を図る。「飼い主のいない猫不妊・去勢補助事業」の枠と機会を拡大し、「飼い主のいない猫」の個体数の抑制を図り、動物愛護法に規定されている「人」と「動物」の共生社会を目指す。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	狂犬病予防集合注射の接種率が下がっているため、未接種の犬の所有者に対し接種を促すための対策強化を図る。また、「飼い主のいない猫不妊・去勢補助事業」については、事業開始後7年が経過することから、事業の在り方について獣医師会と協議する必要がある。引き続き、「飼い主のいない猫」の個体数の抑制を図り、保健所巡回指導の強化を図る。
②①に基づく取組み結果	狂犬病予防注射の督促回数を増加(年2回)したが、接種率は若干の減少であった。「飼い主のいない猫」の予算額を倍増したことにより、前年より不妊・去勢手術を実施することができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内畜犬、飼い主のいない猫	意図(対象をどうするのか)	狂犬病の発生の予防・蔓延を防止及び撲滅する。また飼い主のいない猫の個体を抑制し、動物愛護法に規定されている「人」と「動物」の共生社会を目指す。
②事務事業の概要	狂犬病による被害を防止するため、犬の登録及び予防注射(集合注射)を実施する。登録や予防注射済みの所有者に鑑札及び注射済証を交付する。集合注射が行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で鑑札及び注射済証の交付を行う。また、動物愛護の観点から「人」と「動物」との共生社会を目指し、「飼い主のいない猫」による生活環境への影響を最小限に抑えるため、不妊去勢手術を行い、「飼い主のいない猫」の増加抑制を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	狂犬病予防法により、犬の登録及び狂犬病予防注射の接種が義務付けられているほか、ペットの社会的地位づけが替わり、動物の愛護及び管理に関する法律の改正されたことにより、人と動物が共生できる社会に至るには、長期間のスパンでの持続的対策が必要となってくる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	・狂犬病集合注射(市内17か所、7日間)の実施、未接種犬の飼い主に対する督促の実施 ・飼い主のいない猫不妊・去勢助成事業規模を拡大して実施。また「飼い主のいない猫適正飼養普及員」の1名任命、普及員を増やすことができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	畜犬登録数に対する予防注射接種率	72.9	75.4	74.3	%	
	ii	飼い主のいない猫死体処理数	304	305	283	頭	
iii	飼い主のいない猫不妊去勢実数	13	26	56	頭		
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	4,184	4,094	金額(千円)	内容		5,156	
国支出金(千円)			1,971	非常勤賃金			
県支出金(千円)			90	印刷製本費			
市債その他(千円)			285	鑑札等作製委託			
一般財源(千円)	4,184	4,094	9	畜犬登録促進指導委託		5,156	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	ここ数年の狂犬病予防注射の接種率の伸び悩み(73%台)を解消する必要がある。また、「飼い主のいない猫」の人への生活被害が寄せられている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	狂犬病予防法により、市に義務付けられた業務であるため、未接種犬の飼い主への督促を今後も継続していく必要がある。糞・尿被害や鳴き声など市民からの苦情が多くなっていることから、猫の個体数を抑制するため、今後も継続していく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由			流用・充当		
	令和2年度への繰越額(単位:千円)				

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	第2斎場建設事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	環境課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	市村 昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	新築工事(建築・電気・空調・給排水衛生・外構等)を実施する。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	第2斎場建設事業完了のため、なし。
②①に基づく取組み結果	第2斎場の建設を完了し、令和元年10月に「しおかぜホール茜浜」として供用を開始した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	四市複合事務組合(船橋、習志野、八千代、鎌ヶ谷)	意図(対象をどうするのか)	社会慣習、公衆衛生、その他公共の福祉の観点から支障なく行われる
②事務事業の概要	四市複合事務組合(船橋市・習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市)が建設する第2斎場整備に必要な経費の負担を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	高齢人口の増加に伴い火葬件数が増加しており、既設の馬込斎場の拡充、増設の余地がなく火葬能力の限界に近づいている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	四市複合事務組合による第2斎場建設費に係る負担金を支出した。(主な事業:本体建設工事、各設備工事等の実施)				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 馬込斎場利用率	94	96	98	% 業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	159,969	145,000	金額(千円)	内容	0
国支出金(千円)			145,000	四市事務組合負担	
県支出金(千円)					
市債その他(千円)		126,000			
一般財源(千円)	159,969	19,000			0

IV 評価・検討

①課題	既存の馬込斎場に加え、令和元年10月に第2斎場が開業し管理運営費負担額が増加したため、適正な管理運営が行われているか精査・確認を行う必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	第2斎場の建設を完了し、令和元年10月に「しおかぜホール茜浜」として供用を開始したため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	負担金の支出	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
		計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	負担金の支出	145,000	145,000	当初	145,000	H30からの繰越
				H30⇒R1繰越		
③達成状況	完了			補正		現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当		145,000
		令和2年度への繰越額(単位:千円)				